

大腿骨転子部骨折の髓内釘固定術後に大腿骨頭圧壊を来した1例を経験した。高齢者では内固定材を支持できない程の骨脆弱性から明らかな誘因なく術後再骨折することがあり、手術より良い整復位を目指す必要がある。

13. TKA 術後 bearing の破損を原因として膝蓋腱断裂を生じた1例

市立島田市民病院 整形外科 齋藤富彦(さいとうとみひこ)、中山威知郎、加藤弘文、佐伯公三、澤田守弘、古川剛

TKA 術後 13 年経過して、bearing の破損を原因とした膝蓋腱断裂が生じたと思われる 1 例を経験したので報告する。

14. デュロキセチン(サインバルタR)の使用経験

松浦整形外科 松浦知史(まつうらともふみ)

線維筋痛症 5 例、慢性腰痛症 13 例、変形性関節症 15 例の 33 例に投与した。変形性関節症では、判断不能 2 例、無効 1 例、やや有効 0 例、有効 8 例、著効 4 例であり、水腫が軽減してきているが VAS が悪化する例が良い適応と思われた。

15. 肩関節脱臼に伴う腕神経叢損傷および末梢神経損傷の検討

浜松医科大学医学部附属病院 整形外科 萩原和弘(はぎわらかずひろ)、大村威夫、宮城 道人、松山幸弘

静岡市立静岡病院 整形外科 澤田 智一

肩関節脱臼に伴う腕神経叢損傷を含む末梢神経損傷の自験例 15 例では、全例に腋窩神経麻痺を合併し、93%にその他の末梢神経麻痺を伴った。損傷型、回復過程、治療方法などを検討し、文献的考察を加え報告する。

16. 骨形成不全症による剥離骨折を伴ったアキレス腱断裂の1例

菊川市立総合病院 整形外科 小木浩孝(おぎひろたか)、鈴木義司、山下大輔、宮本繁之、堀田健介、渡邊悠、村田英之

骨形成不全症は骨脆弱性のため、骨折を起こしやすい結合組織の遺伝的な障害である。今回我々は右踵骨骨折保存加療中にアキレス腱断裂と剥離骨折を来した骨形成不全症の一例を経験したので文献的考察を含めて報告する。

《特別講演》18:30~19:30 座長 静岡県立こども病院 整形外科 滝川一晴先生

演題 「早期診断、治療が望まれる小児整形外科疾患 - 小児科医から整形外科医まで - 」

講師 埼玉県立小児医療センター

整形外科 科長兼副部長

平良勝章先生

* 特別講演終了後、情報交換会を開催致しますので、多数ご参加ください。



《開催場所の周辺地図》



ニッセイ静岡駅前ビル
静岡市葵区黒金町59-7
TEL:054-272-6562

第 187 回静岡県整形外科医会 集談会(訂正分)

【日 時】 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 14:30~19:30

【会 場】 ニッセイ静岡駅前ビル 2F TEL : 054-272-6562

【役員会】 13:30~14:30

【総 会】 14:30~15:20

【集談会】 15:20~19:30

《薬事情報》 15:20~15:30 「帝人ファーマ (株) 製品紹介」

《ワンポイントレッスン》 16:40~16:55

演題 「単純 X 線でわかる! 小児股関節疾患 ~診断のポイント~」

講師 静岡県立こども病院 整形外科 松岡夏子先生

《ミニレクチャー》 16:55~17:10

演題 「再審査申し出状況について」

講師 社会保険診療報酬支払基金静岡支部 医療顧問 北條博先生

《特別講演》18:30~19:30

演題 「早期診断、治療が望まれる小児整形外科疾患 - 小児科医から整形外科医まで - 」

講師 埼玉県立小児医療センター 整形外科 科長兼副部長 平良勝章先生

共催 静岡県整形外科医会
静岡県医師会協同組合
帝人ファーマ株式会社

《お知らせ》

- ・一般演題は発表時間 5 分以内(質疑応答を含めて 8 分)でお願いします。
- ・質疑応答は座長の指示に従ってください。
- ・講演中の写真撮影はご遠慮下さい。
- ・特別講演は日整会教育研修単位【3】(小児整形外科疾患)又は【6】(リウマチ性疾患, 感染症)1 単位に該当します。
- ・受講料は 1,000 円です。研修手帳をお持ちの方は受付に提示し、受講料をお支払いください。
- ・日本医師会生涯教育単位の 1 単位(カリキュラムコード 62 又は 72)に該当します。
- ・当日会場にて、参加費 3,000 円を徴収させていただきます。

・年会費未納の方は、年会費受付に年会費をお支払いください。

開業医会員	5,000 円
勤務医会員	4,000 円
研修医会員(研修 2 年目まで)	1,000 円

*平成 21 年度から、原則、勤務医も年会費の個人払いになりました。
(尚、前年まで年会費未納の方は併せてお納め願います。)
新入会及び住所、所属変更の方は、年会費受付にお申し出下さい。

- ・教育講演単位申請には日本整形外科学会会員カードが必要になりますので、申請希望者は必ずご持参ください。
- ・演題発表者は静岡県整形外科医会会報の掲載のため、抄録(Microsoft Word で 400 字以内英語キーワード 3 語)を USB メモリ等の電子媒体にて、発表演題受付に提出して下さい。
- ・会場受付にてご参加頂いた確認の為、ご施設名・ご芳名の記帳をお願い申し上げます。
ご記帳頂いたご施設名・ご芳名は医薬品および医学・薬学に関する情報提供の為に利用させて頂くことがございます。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

《静岡県整形外科医会》

会長 森 諭史 (聖隷浜松病院)
事務局 滝 正徳 (聖隷浜松病院) TEL 053-474-2222 FAX 053-471-6050
当番幹事 滝川一晴 (静岡県立こども病院) TEL 054-247-6251 FAX 054-247-6259
委託事務局 (株)エリアネットコム(担当 豊田) TEL 054-237-9625 FAX 054-237-5069

≪ 総 会 ≫ 14:30~15:20

≪ 業事情報 ≫ 15:20~15:30

「帝人ファーマ(株)製品紹介」

≪一般演題Ⅰ≫ 15:30~16:40 座長 静岡県立こども病院 整形外科 松岡夏子先生

1. shoe lace 法と陰圧閉鎖療法にて早期創閉鎖が可能であった大腿コンパートメント症候群の1例

焼津市立総合病院 整形外科 寺尾紫翔(てらおしぶき)、古川由梨、徳山周、靱負耕史、樋口淳也、奥石暁、赤坂嘉之、友山真

抗凝固剤内服中の75歳女性。誘因なく左大腿の腫脹、疼痛を主訴に初診した。大腿コンパートメント症候群の診断で緊急筋膜切開後、shoe lace 法と陰圧閉鎖療法にて早期創閉鎖ができた1例を報告する。

2. 橈骨遠位端骨折後の遠位橈尺関節掌側脱臼の1例

静岡市立静岡病院 整形外科 堀留奈(ほりるな)、澤田智一、森岡聡、青木健太郎、一ノ瀬初美、黒須健太、平松聖士、黒川敬史、佐野倫生

遠位橈尺関節脱臼は背側脱臼が多く、掌側脱臼はまれである。今回、橈骨遠位端骨折後の遠位橈尺関節掌側脱臼に対して保存的加療を行った1例を経験したので、文献的考察を加えて報告する。

3. MRSA を起因菌とした化膿性閉鎖筋炎・恥骨結合炎の1例

磐田市立総合病院 整形外科 畑佳秀(はたよしひで)、猿川潤一郎、鈴木隆辰、大石崇人、井出浩一郎、岡林諒、村上裕樹、山崎薫

82歳女性、左鼠径部痛にて当院受診。MRIにて内閉鎖筋及び恥骨結合に信号変化を認め血液・尿培養からMRSAが同定された。MRSAによる化膿性閉鎖筋炎と診断し抗菌薬投与にて軽快した症例を報告する。

4. 梨状筋に発生した化膿性筋炎の1例

静岡県立静岡がんセンター 整形外科 村田秀樹(むらたひでき)、片桐浩久、和佐潤志、田中厚誌、高橋満

16歳男性(高2)、サッカー練習中に左殿部痛を自覚。徐々に疼痛が増悪、発熱も出現した為、近医受診。左梨状筋内に腫瘍性病変を認めた為、当院紹介。組織採取にて化膿性筋炎と診断。抗菌剤投与で症状改善傾向。

5. 大腿骨骨肉腫切除後に生じた脚長不等に対する等長化手術を行った1例

静岡県立こども病院 整形外科 橘亮太(たちばなりょうた)、滝川一晴、松岡夏子、半井宏侑

静岡県立静岡がんセンター 整形外科 高橋満

骨肉腫好発部位の膝関節周囲は下肢の骨成長に寄与しており、患肢温存術後に生ずる脚長不等が問題となる。今回大腿骨骨肉腫切除術後に生じた、脚長不等に対する等長化手術を行った1例を経験したので報告する。

6. 経皮的内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(PED)の導入と初期161例の治療成績

フジ虎ノ門整形外科病院 整形外科 土田隼太郎(つちだしゅんたろう)、田中泰弘、小川裕、杉原隆之、望月一成、小松美月、雪平重雄

市立御前崎総合病院 整形外科 北浜義博

トレーニングコースの受講、数施設の手術見学を経て、2015年3月より十分なPEDの経験を持った脊椎外科医の立ち合いのもとPEDを導入した。導入にあたっての対策と初期161例の手術成績、合併症について報告する。

7. 脛骨遠位端 Triplane Fracture の治療経験

静岡済生会総合病院 整形外科 藤原高(ふじわらたかし)、伊藤英人、天野貴文、小倉跡夢、土川大介、津久井亨、田中宏昌、伊東翼、矢崎尚哉

2012年1月から2016年12月までに当院で治療した脛骨遠位端 Triplane fracture 10例について報告する。CT撮影を行い、骨折部の正確な整復・固定ができれば、予後は良好であると思われる。

8. 人工膝関節置換術(TKA)後に膝蓋骨脱臼をきたしMPFL再建術を施行した1例

藤枝市立総合病院 整形外科 小竹将允(こたけまさみつ)、阿部雅志、鈴木重哉、鈴木希央、清水朋彦、鈴木愛、中村光志、山本元大

71歳女性、他院でTKA施行後に膝蓋骨脱臼で当院紹介受診した。膝蓋骨は置換で外側に伸展から屈曲まで脱臼位にあった。大腿四頭筋腱を用いたMPFL再建を施行した。術後5ヶ月で再脱臼なく良好な結果を得たので報告する。

≪ワンポイントレッスン≫ 16:40~16:55 座長:静岡県立こども病院 整形外科 滝川一晴先生

「単純X線でわかる!小児股関節疾患 ~診断のポイント~」

講師 静岡県立こども病院 整形外科 松岡夏子先生

≪ミニレクチャー≫ 16:55~17:10 座長:静岡県立こども病院 整形外科 滝川一晴先生

「再審査申し出状況について」

講師 社会保険診療報酬支払基金静岡支部 医療顧問 北條博先生

≪休 憩≫ 17:10~17:20

≪一般演題Ⅱ≫ 17:20~18:30 座長 焼津駅前整形外科リウマチ・リハビリクリニック 上野剛志先生

9. 超音波ガイド下神経ブロック単独での膝関節鏡手術

静岡県立総合病院 整形外科 佐野禎一(さのていいち)、松岡秀明、中山憲、平出展也、村尾浩樹、川合拓郎、赤坂駿介、坂本大地

超音波ガイド下神経ブロックで膝関節鏡手術を行った。症例は52例。半月板切除・縫合、ACL後セカンドルック、滑膜切除などを行った。腰神経叢、仙骨神経叢、大腿神経、坐骨神経、外側大腿皮神経などをブロックした。

10. 上腕骨頸部骨折の保存的治療にテリパラチドを併用した3例

市立島田市民病院 整形外科 中山威知郎(なかやまいちろう)、加藤弘文、佐伯公三、澤田守弘、齋藤富彦、古川剛

テリパラチドは骨粗鬆症の治療として用いられてきているが骨折の治療にも有効に働くと考えられている。今回上腕骨頸部骨折の保存的治療例に対してテリパラチドを用い有効であったと思われた3例に関して報告する。

11. 81歳女性の尺骨に発症した脆弱性・疲労骨折の1例

順天堂静岡病院 整形外科 大澤秀臣(おおさわひでおみ)、大林治、最上敦彦、神田章男、諸橋達

日常生活動作の軽微な外力が原因で発症した尺骨の脆弱性骨折による偽関節症例に対して、観血的治療と低出力超音波パルス、2年間のテリパラチド注射を併用し骨癒合が得られた1例を経験したので報告する。

12. 大腿骨転子部骨折に対する髓内釘固定術後の大腿骨頭圧壊

沼津市立病院 整形外科 細川郁(ほそかわかおる)、向山俊輔、下山勝仁、相庭温臣、門田領、篠原将志、井上嵩基、望月真人